

## 6回生 選択科目「応用英語」授業のシラバス

<b>教科名</b>	外国語	<b>科目名</b>	応用英語	<b>単位数</b>	2単位
<b>科目の目標</b>	ある程度まとまりのある英語を制限時間内で読み、概要や要点をとらえる能力を養う。また語法や文法事項の確認や語彙の強化をはかり、英語の表現力を高める。				
<b>教科書</b>	なし		<b>副教材</b>	Smart Reader Approach (いっすな書店) 大学入学共通テスト用教材 英作文用教材	

### 1 学習の目標

- (1) 英語の語順感覚を読解トレーニングにより身に付ける。また大学入学共通テストに対応した問題演習も行い、時間内に大意をつかみ、解答をする力を養う。
- (2) 実際の過去問演習を行い、記述試験対策に当てる。

### 英語運用の4技能の目標

<b>聞くこと</b>	○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。
<b>話すこと</b>	○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。
<b>読むこと</b>	○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。
<b>書くこと</b>	○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。

### 2 学習の方法

- (1) 予習について  
制限時間内に初見の文を読んで解答する訓練をしますので、授業には予習をしないで臨んでください。
- (2) 授業について  
最初に制限時間内に問題を解く演習を行います。その後、附属のワークブックを使って日本語訳や説明を行い、文法の説明を行います。
- (3) 復習について  
授業内に確認した文法事項を復習しましょう。説明されたときにわかったつもりになるだけでは文法は身につけません。Vintage等の問題集を使って文法事項の確認を行って下さい。適宜、文法のプリント・大学の過去問等にも取り組み、課題として提出を求める場合もあります。

#### 〈学習アドバイス〉

初めは時間内に読むことは難しいかも知れませんが、自分のスピードが遅いことを実感してもらうためにも目標時間内で読みます。ただし、それで終わりではなく、家庭学習でもういちどしっかりと読まなくてはなりません。速読と精読の両方を行って初めて力がつきます。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
② 表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
③ 理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとしていることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。
④ 知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

#### (2) 評価の方法 (以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料	定期考査	発言・応答
① 関心・意欲・態度			○
② 表現の能力	○	授業で扱った文法に関する語句整序・英作文等	○
③ 理解の能力	○	初見の読解問題	○
④ 知識・理解	○	文法・語法問題等	○

#### 〈担当者からのメッセージ〉

- この授業の目標は大学入学共通テストの形式に早くから慣れることです。しかし、共通テスト形式の演習だけでは真の英語の力はつきません。各種教材及び、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅱの授業を活用して、英文を正確に速く読み取る力をつけましょう。
- 授業中は常に当てられることを意識して、問題に集中して取り組みましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性							
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強しなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重						
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力								A	B	C	D	E	F
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を理解し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合っていくことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。						

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力	
4	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 ※上記3教材を通年でローテーションで使用予定	<b>意味のまとまりの把握</b> ・主格の関係代名詞 ・関係代名詞で主語修飾 ・目的格関係代名詞	①自主的に課題に取り組んでいる。 ②③関係代名詞による修飾関係を用いた文を理解し書くことができる。 ④関係詞を用いた文の用法とその仕組みを理解することができる。	1学期中間考査	A B A B D	
5	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 演習 言語	・前置詞＋関係代名詞 ・関係副詞による修飾 ・不定詞の形容詞用法 ・現在分詞による修飾 ・過去分詞による修飾 ・形容詞句・前置詞句	①自主的に課題に取り組んでいる。 ②③様々な修飾用法を用いた文を理解し書くことができる。 ④不定詞・分詞、句等による修飾関係の仕組みを理解することができる。		A B C D	
6	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 演習 言語	・同格の that ・関係代名詞 what ・疑問詞を用いた名詞節 <b>文構造の把握</b> ・形式主語の it ・形式目的語の it ・It is~that...の強調構文 ・比較表現 ・仮定法	①自主的に課題に取り組んでいる。 ②③様々な文構造を用いた文を理解し書くことができる。 ④itを用いた文構造、比較、仮定法等の文法構造を理解することができる。		A B C D	
7	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 演習 言語	・so~that...構文 ・not only~but also... ・等位接続詞の共通関係 <b>説明を加えるパターン把握</b> ・関係代名詞の非制限用法	①自主的に課題に取り組んでいる。 ②③様々な補足説明の仕方を用いた文を理解し書くことができる。 ④関係代名詞の非制限用法、withを用いた付帯状況の表現を理解することができる。		A B C D B C D	
8	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 演習 言語	・分詞を用いた副詞的表現 ・withを用いた付帯状況 <b>動詞の後ろのパターン把握</b> ・動詞＋名詞＋不定詞	①自主的に課題に取り組んでいる。 ②③動詞の後に来るパターンを把握しそれを用いた文を理解し書くことができる。 ④特定の動詞について、その後に来るパターンを理解し、応用することができる。		A B C D	
9	Smart Reader 使用 大学入学共通テスト用教材 英作文演習教材使用 演習 言語	・動詞＋名詞＋動詞原形 ・動詞＋名詞＋補語			1学期期末考査	A B C D
10	大学入試過去問題演習	・長文読解				
11		・文法				
12		・和文英訳				
1		・自由英作文				

※ 評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は理解の能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。